

政策番号	3	政策分野	青少年の成長と参加
------	---	------	-----------

基本方針	青少年が社会を構成する担い手として、みずから考え、行動する大人へと成長、自立することを支援するため、多様な体験、社会参加の機会を提供し、自主的な活動を促進するとともに、社会全体で青少年の育成を支援する体制づくりを推進する。
------	---

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

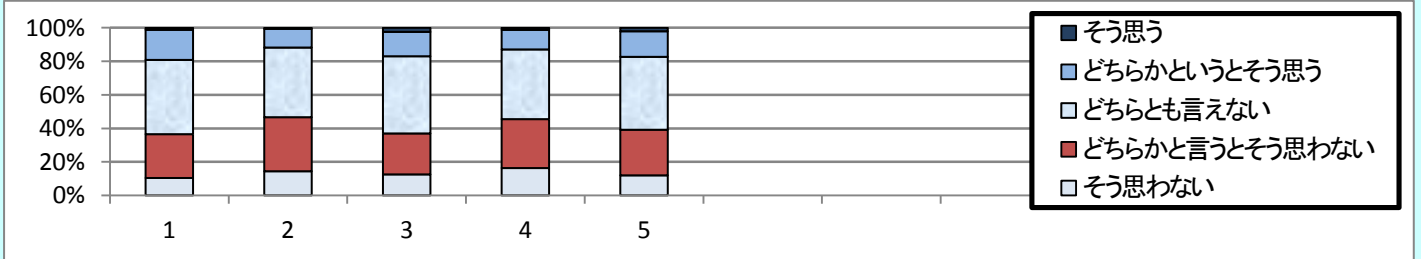
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	23 年度	24 年度	25年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	青少年活動センターで活躍するボランティア数(人)	814	970	b	a	860	923	848	108.8%	a
2	青少年(13歳～30歳)が参画している審議会等の割合(%)	10.5	20	d	d	7.3	8.4	18.0	46.7%	d
3	自立に向け改善した青少年の割合(%)	58	30	-	a	58	69	30	230.0%	a
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価				c	b					b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。	c	d	c
2	青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。	d	d	d
3	青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が生かされている。	c	d	d
4	青少年がニート(仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと)、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。	d	d	d
5	青少年の成長を支援する社会環境と、青少年を受け入れる居場所がある。	d	d	d
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価		d	d	d



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
18	12.2%	18	12.9%	10	86.7%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
【客観指標】・青少年活動センターのボランティア数については、これまでから増減を繰り返しながらも徐々に増加してきており、目標値を上回ったことから、a評価となった。 ・青少年が参画している審議会等の割合については、一部の審議会等において青少年の参画が増加したため、人数の合計は増加したものの、幅広く参画するには至らず、微増となったため、昨年度に引き続き、d評価となった。 ・自立に向け改善した青少年の割合については、昨年度から評価を実施しているが、順調に数値を増やしており、目標値を大幅に上回り、a評価となった。		24年度	C
【市民の実感】・昨年と比較し、青少年の「生きる力」の育成に関する評価は好転したが、それ以外の設問については、昨年度と同様の評価となり、やや否定的な評価となった。全体として、青少年の社会参加や将来に対する憂慮がうかがわれる。		23年度	C
【総括】・客観指標が市民の実感を上回る結果となった。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照 ページ
		23	24	25	
0301	青少年の自主的な活動の促進	B	B	B	71
0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進	C	B	C	73
0303	青少年の成長を支援する環境づくり	B	B	B	75

<今後の方向性>

・青少年が「生きる力」を身につけ、自らの生き方・将来像を設計できるよう、青少年の成長に欠かせない多様な体験の機会の提供や市政への参加をはじめとした社会参加の促進など、青少年の自主的な活動を促進するとともに、その力を社会の幅広い分野で活用していく。

・課題に直面する青少年を支援するため、子ども・若者の社会的自立に資する団体に対する支援など、関係機関・支援団体等と連携し、制度や窓口の周知・啓発を行うとともに、ひきこもり地域支援センターの開設やピアサポーター(ひきこもり経験者など、より支援対象者に身近な者)養成・派遣事業をはじめとした新たな支援事業を実施するなど、「子ども・若者育成支援推進法」に基づいた取組を進める。

・青少年の成長を支援する社会環境の整備に向け、青少年活動センターを拠点とした活動の場づくりや、人的支援とネットワークづくり、社会環境づくりを推進する。

政策名	3	青少年の成長と参加			
指標名	青少年活動センターで活躍するボランティア数（人）				
担当部室	共同参画社会推進部		連絡先	2 2 2 - 3 2 2 2	
1 指標の説明					
青少年活動センターで活動するボランティアの数					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
事業の企画、運営等に参画する青少年の状況（社会参加活動）を示す指標			出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠		
	814	970	平成15年度から平成20年度現況値(788人)までの5年間の増加数(182人)を、平成20年度から平成32年度までの増加数として当てはめた数値		
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	単年度目標値	
数値	860	923	63人増	数値	根拠
				848	平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値				根拠	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
単年度目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上100%未満 c：90%以上95%未満 d：85%以上90%未満 e：85%未満			平成32年度の目標値の達成には相当の努力を要するものの、年次ごとの目標値を上回することは不可能でないため、達成度100%以上をa、以下5%刻みで按分した。		232425
					b a a

指標名	青少年(13歳～30歳)が参画している審議会等の割合（%）				
担当部室	共同参画社会推進部		連絡先	2 2 2 - 3 2 2 2	
1 指標の説明					
市の全ての審議会のうち、青少年(13歳～30歳)が1人以上参加している審議会の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
社会の幅広い分野において、意思決定の過程に積極的に青少年の力が生かされていることを示す指標			出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠		
	10.5	20	平成21年度の実績が17%であり専門性、経験が求められる審議会等委員の性格から、平成32年度までに20%を目指す		
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	単年度目標値	
数値	7.3	8.4	1.1ポイント増	数値	根拠
				18.0	平成32年度の20%達成の中間目標として、平成25年度まで18%に目標を設定
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		18.0%	25年度	46.7%	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当指標については、設置される審議会の属性や内容による部分が大きく、かつ審議会等の委員には専門性、経験が求められるため、最終目標を20%、中間目標を18%とし、達成度を20%ずつ均等に区分することで基準を設定した。		232425
					d d d

政策名	3	青少年の成長と参加					
指標名	自立に向け改善した青少年の割合（％）						
担当部室	共同参画社会推進部		連絡先	2 2 2－3 2 2 2			
1 指標の説明							
子ども・若者指定支援機関の支援コーディネーターが、関係機関と連携し課題に直面する青少年を支援した結果、行動等の改善が見られるなど、社会的自立に向け改善した支援対象者の割合							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する青少年が、支援を受けた結果、生活における満足感や幸福感を高めていることを示す指標			出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後の（平成32年度）目標値	平成24年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	58	30	若者サポートステーションの厚生労働省の基準値を参考に、支援対象者の属性を踏まえて設定した数値目標				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	58	69	11ポイント増	30	若者サポートステーションの厚生労働省の基準値を参考に、支援対象者の属性を踏まえて設定した数値目標	230.0%	
	全国順位	中長期目標			備考	22年度10月から開始の事業で、支援対象者の状態が改善したかどうか、支援開始から6箇月時点で評価を行うため、評価のための数値が出る23年4月から評価を実施	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			達成度100%以上をaとし、以下を均等に区分することで基準を設定した。		23	24	25
					-	a	a